

日 時	令和7年1月27日(月) 15:00~16:00
会 場	市役所5階 委員会室
出席委員	安藤淳一委員、舟田敬委員、高杉真委員、伊藤(和)委員、泉澤 誉一委員、関川修司委員、小池隆史委員、浦野郁美委員、伊藤 (宰)委員
欠席委員	川俣委員
傍聴者	0名
市出席者	【建設部建設総務課】 中垣部長、庄司次長、池端主査、佐藤主任

・ 議事内容

1 開会

建設部長挨拶

会長挨拶

2 報告事項

(1) 令和6年度住まい創生サポート事業に関する実績等について

[意見及び回答]

●A委員：北広島不動産協会の加盟業者一覧について、配布された冊子に掲載されているものと違うと思いますが、何か変わりましたでしょうか。

事務局：

冊子発行後、加盟業者の営業終了により加盟業者数に変更が生じました。

●B委員：いかに空き家を把握するかに尽きると思います。郵便局等実態を把握しているような機関と連携することが出来れば、実態に近い空き家数が把握できると思います。空き家の問題は少子高齢化と表裏一体だと思います。複合的にこれらの問題に取り組んでいけば改善されると思います。あとは地価も上昇しているため、買いやすい物件価格になると、もう少し空き家の流動化に動きが出てくると思います。

事務局：

空き家の調査については、町内会・自治会へ情報提供の呼びかけを行いました。  
また、委託調査においても、当市で把握する空き家データとの突合や外観確認等  
を行いながら調査しているところですので、今回の結果がより現実的な空き家  
数となると思いますが、法改正により電力会社への照会も行うことができるた  
め、その部分についても検討していく必要があると思います。

地価の上昇についても、更地にして家を建てるのが難しくなっていること  
を踏まえ、リアルタイムで空き家数を把握出来れば、活用に向けたステップに移  
行しやすくなると思いますので、引き続き空き家数の把握に努めます。

●A委員：住まいの相談会についてお伺いたします。会場はどのようにして選定されたのか、また参加人数は市の目標とする組数に達していたのでしょうか。

事務局：

会場については、本来は各地区で行うことが適切かと思いますが、会場の問題もあったため、芸術文化ホールとふれあい学習センター夢プラザで行いました。ふ参加組数については、1組当たりの相談時間やブース数等勘案すると15～20組が適切かと考えています。ふれあい学習センター夢プラザでは参加組数が少なかったですが、芸術文化ホールでは平均15組ほどでした。

●C委員：相談件数について、件数の把握はされていますでしょうか。また、試験的に開催する住まいの相談については、継続する予定はありますか。

事務局：

件数については、住まいの相談カウンター設置前は30～40件ほどでしたが、今年度については、210件ほどです。補助金の有無に関する問い合わせもありますが、住まいに関する相談が多いです。  
また、試験的に行っている住まいの相談については、今後も継続して行う予定ですが、北広島不動産協会1社が対応する方式のため、対応に限りがありますが、相談内容を市が吸い上げて対応する部分も出てくるかと思えます。

●B委員：住まいの相談カウンターのチラシについて、とても見やすいと思います。新聞折り込みや広報、各町内会への回覧はできないのでしょうか。

事務局：

チラシについては、住まいの相談会にて設置して周知を行っているところです。今後も周知方法については、検討したいと思えます。

### 3 その他

事務局より次回の空家等対策推進協議会の開催意向及び委員の任期満了について説明

### 4 閉会

議事録署名 \_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_